

平成26年度 自己評価結果に対する学校関係者評価

学校名	北海道月形高等学校	外部評価委員会 (学校評議員会)
-----	-----------	---------------------

1 本年度の重点目標

- 1 自ら学び主体的に行動する意欲の育成を図る
- 2 礼節と勤労を尊び、逞しい心身の育成を図る
- 3 確かな学力の育成と進路目標の実現を図る

2 本年度の経営方針

- 保護者や地域から「選ばれる学校づくり」を推進する
- 1 人生をどう生きるか主体的に考える生徒の育成を目指し、三年間見通したキャリア教育に努める
 - 2 学校の教育力の充実を目指し、教職員の協働意識の向上と経営参画意識の醸成に努める
 - 3 教職員一人ひとりの資質向上を目指し、不断の授業改善に努める

3 自己評価結果に対する外部評価(A:十分 B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分)

評価平均・・・A:4、B:3、C:2、D:1として平均値を算出

評 価・・・評価平均について、A:3.25以上、B:2.50～3.24、C:1.75～2.49、D:1.74以下(小数第3位四捨五入)

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価 の適切さ	改善に向け た取組 の適切さ
学習指導	①教育課程は、生徒の実態や当面する課題に対応して編成されているか。	B	・朝読書は、クラスにより定着度が異なる状況であった。効果的な朝読書にするため、年度当初に、全教職員と全校生徒に朝読書の意義と取り組み方法について周知を図る。	B (3.2)	B (3.2)
	②年間学習指導は計画と実施のズレがチェックされているか。	B	・教育課程の編成は引き続き生徒の実態や当面する課題に対応して行う。		
	③学習指導の改善のためシラバスの作成と公開が適切におこなわれているか。	B	・家庭学習強化週間について、今年度は回数を多く設定した。一層の効果を図るため、新たに個に応じた課題内容を取り入れ指導の充実に努める。		
	④生徒の実態を考慮し、基礎・基本が確実に身につくよう教材の精選が行なわれているか。	A	・教科の枠を超えたTT授業は、効果的であった。引き続きTTの展開を設定し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の向上を図る。		
	⑤わかりやすい授業となるよう、授業内容や教材等工夫されているか。	A	・特別支援体制について、各学年にワーキンググループの担当を置き組織的に対応する。		
	⑥授業規律の確立等基本的なしつけの指導がなされているか。	B			
	⑦個々の生徒の学習状態を把握して、適切に評価しているか。	B			
	⑧総合的な学習の時間の趣旨を充分踏まえ、地域の体験活動などを取り入れた興味ある内容になっているか。	B			
	⑨朝読書や家庭学習の充実により基礎学力の向上が図られているか。	B			
生徒指導	①生徒指導体制が全教職員の共通理解と協力で推進できているか。	B	・共通理解を図るため、年度当初に指導体制、指導計画の明確化を図った。指導状況等について共有が不十分なところがあったため、分掌・学年の連携を密にし、情報共有を図り、指導の充実に務める。	A (3.4)	A (3.4)
	②地域の関係機関や近隣の他校と連携できているか。	B	・生徒理解研修会を計画的に実施し、生徒の状況について共有することができた。今後も継続していく。		
	③教育相談や個人面接など、生徒理解のための機会を積極的に設けて指導できる体制になっているか。	B	・生徒会執行部のリーダー育成のために、教育局や町教育委員会主催のリーダー研修会に積極的に参加した。また、他高校の生徒会執行部との交流も実施することができた。今後も継続する。		
	④基本的生活習慣や集団生活の決まりが身につくよう、きめ細かな指導ができているか。	B	・教育相談体制について、生徒が相談しやすいよう、各学年にワーキンググループの担当を置き組織的に対応する。		
	⑤いじめや非行、問題行動の早期発見と、その予防対策が日常生活の中で行われているか。	B			
	⑥学校行事は、生徒が自発的に活動できるよう工夫されているか。	B			
	⑦ホームルーム指導計画は、教科指導や他の特別活動との関連を考慮した指導計画であるか。	B			
	⑧部活動に対し、生徒が主体的に参加できるよう指導されているか。	B			
	⑨生徒会活動が、生徒の自主的活動となるよう、全教職員の協力体制ができているか。	B			

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
進路指導	①進路指導計画の内容が、生徒の実態に対応できているか。	B	・「進路のしおり」は、昨年度を踏襲した。様々な場面で活用できるように内容等を工夫する。 ・進路指導部通信を発行し、進路情報の提供に努めた。今後も情報提供を充実させ、個々の進路実現に尽力する。 ・本校のキャリア教育について、進路指導部の課題として、今後、三年間を見通した具体的な方針や取り組み方法について検討する。 ・進学指導の充実に向けて講習を計画的に行うことができた。講習等の一層の効率化（サテラインの活用など）について検討する。	B (3. 20)	B (3. 20)
	②進路指導計画が、ホームルームの指導の中で具現化されているか。	B			
	③生徒や保護者との話し合いを密にし、進路決定のための相談活動が適切に行われているか。	B			
	④講習や模擬試験の指導など希望実現への援助活動はなされているか。	A			
	⑤望ましい勤労観や職業観を育て、自己理解を促す指導は適切に行われているか。	B			
	⑥外部機関とのネットワークを広げ、相互の情報の共有が適切に行われているか。	A			
健康安全指導	①交通安全をはじめ、安全意識を高める指導は行われているか。	A	・避難訓練は、防災に係る訓練を2回実施した。防犯を踏まえた避難訓練について、関係機関に相談できたが実施には至らなかった。早い時期に関係機関と連携し、防犯に係る避難訓練を検討する。 ・業務継続計画BCPを含む防火防災計画を作成し、校内研修を実施することができた。今後も全員に周知を図り危機管理体制を充実させる。	A (3. 4)	A (3. 4)
	②安全確保のための環境整備や点検は行われているか。	A			
	③防災関係の規程や非常事態発生時の対処要領が、職員や生徒に周知されているか。	B			
	④危機に対する管理体制が充分なされているか。	B			
	⑤健康安全に対する計画的・継続的な指導はなされているか。	A			
	⑥校舎内外の清掃・美化活動は計画的に行われているか。	A			
	⑦生徒の環境美化に対する意識を高める指導は行われているか。	B			
組織運営	①教育活動全般において、教育目標の具現化が図られているか。	B	・保護者アンケートと教職員の自己評価の評価結果を十分に検証し、組織運営の充実に努める。 ・全教職員が当事者意識を持ち、協働体制のもと、機動的な学校運営を図る。	A (3. 6)	A (3. 6)
	②生徒や保護者に対して、教育目標等の周知を図っているか。	B			
	③組織の協力体制が整い、機動的に学校運営がなされているか。	B			
	④教職員が学校運営に対して、積極的に参画できているか。	B			
	⑤教職員相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場のムードづくりができていますか。	B			
	⑥教職員の健康管理や福利厚生に対して、配慮されているか。	B			
	⑦職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が活かされているか。	B			
	⑧法令遵守と服務規律が守られ、説明責任がなされているか。	A			
研修	①校内研修会の時期、実施内容は適切であるか。	A	・校内研修会を年間計画に位置づけ、効果的に実施することができた。授業改善に向け、学校内外の研修を充実させる。・校外研修の成果は、研修報告や資料回覧等をおして相互に成果を共有することができた。	A (3. 8)	A (3. 8)
	②各種研修・研究会へは積極的に参加し、生徒に還元されているか。	B			
	③分掌や教科部会内の研修は工夫されているか。	B			
保護者、地域住民等との連携	①家庭訪問の実施等、家庭・保護者との連携協力はできているか。	B	・個人面談、家庭訪問を計画的に実施することができた。保護者と連絡が取れず苦慮することがあった。保護者に連携協力を依頼する。 ・町内小学校と授業公開が同日になった。小中学校と連携し、実施日について検討する。 ・除雪ボランティア活動を実施することができた。今後、ボランティア活動は生徒指導部が中心となり推進する。	A (3. 8)	A (3. 8)
	②PTA行事の充実や研修会等、PTA活動は活発であるか。	B			
	③中学校や地域の関係機関との連絡・連携はなされているか。	B			
	④授業公開日の実施時期や公開内容は工夫されているか。	A			
	⑤地域へのボランティア活動等の参加はなされたか。	B			
施設・設備	①施設・設備の維持管理、教育活動に適した整備及び補充がなされているか。	A	・今後とも教育環境の整備に努める。	B (3. 20)	B (3. 20)